

平成24年12月

京都市こどもの感染症

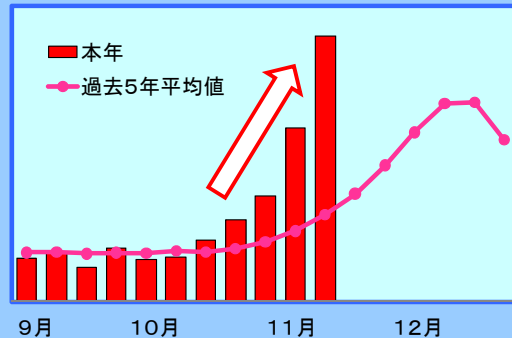
ノロウイルスによる

感染症・食中毒を防ぎましょう

「ノロウイルス」による感染性胃腸炎が、冬季に増加します。発症すると、激しいおう吐・下痢を繰り返します。おう吐・下痢が続く時は水分補給を心がけましょう。また、非常に感染力の強いウイルスで、「食品から人」だけでなく「人から人」にも感染しますので注意しましょう。



☆京都市での発生の様子☆



予防ポイント1

手洗い

感染症予防の基本です。外出後、トイレの後、食事の前などに石けんでよく手を洗い、流水でよく洗い流しましょう。



予防ポイント2

おう吐物・ふん便の処理

- ① マスク・使い捨て手袋を使用する。
- ② 使い捨て手袋やぞうきんなどの汚れた物は、ビニール袋に密閉して捨てる。
- ③ おう吐物・便で汚れた物は、塩素系漂白剤で消毒する。
- ④ 処理の後の室内は、十分に換気する。



注意

- ・ おう吐物にもたくさんのウイルスが含まれています。
- ・ ウイルスは乾燥しても、生き延びます。



予防ポイント3

食品などの加熱殺菌

- ① カキなどの二枚貝の生食はなるべく避け、中心まで十分加熱する。
(中心温度 85℃で1分間以上)
- ② 調理時は、作業ごとに手洗いをし、器具は熱湯で消毒する。



◆「京都市こどもの感染症」に関するお問い合わせ

- お近くの保健センター
- 京都市保健福祉局 保健医療課 (TEL:075-222-4421 FAX:075-222-3416)
- 京都市衛生環境研究所 管理課 (TEL:075-312-4942 FAX:075-311-3232)



京都市印刷物 第244607号
平成24年12月 発行
京都市衛生環境研究所

衛生環境研究所のホームページからもご覧になれます